

Title	庭田範秋教授退任記念号にあたって
Sub Title	
Author	藤井, 彌太郎
Publisher	
Publication year	1993
Jtitle	三田商学研究 (Mita business review). Vol.36, No.1 (1993. 4) ,p.i-
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234698-19930425-04083931

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

庭田範秋教授退任記念号にあたって

今年も学年末になり、教壇を去られる先生方をお送りせねばならぬ季節が来た。本年3月、庭田範秋教授が定年を迎えられ、慶應義塾大学を退職されることになった。

庭田教授は、昭和25年に慶應義塾大学経済学部を卒業後、旧制大学院に進まれ、29年に経済学部の副手となられた。その後、昭和33年商学部の創設とともに移籍され、助教授から教授に進まれた。商学部の創立以来三十有余年、学部とともに歩まれ、学部を育てていただいたわけである。

専門の保険学において、庭田教授は多くの著書と論文を世に問われ、斯学の発展に大きな寄与をされた。昭和41年には、「保険経済学原理」により経済学博士号を授与され、同年の慶應義塾賞をも受けられた。さらに、平成元年には、「新種保険論」によって商学博士号を得ておられる。学外においても、日本年金学会、日本家政学会、日本保険学会、慶應義塾保険学会など、多くの学会の役職や政府審議会の委員などとして、社会的な活躍をしてこられた。

また、ゼミと授業を通じて、大勢の有為な人材を社会に送り出されたこと、それとともに多くの研究者を育てられたことも、特記されるべき点である。

個人的なことだが、私は交通論を専攻するけれども、学生時代にはゼミで庭田教授の指導をいただいた。私が学部3年のとき、交通論の増井健一教授（現名誉教授）が留学しておられたため、園乾治教授（元商学部長）の工業政策のゼミに入会した。そのころ園教授は保険論と工業政策の2つのゼミを持っておられ、両ゼミとも助手当時の庭田先生の指導を受けていたのである。合宿で夜のコンパの後、先生から「資本主義の基本的矛盾はなにか」と質問され、生産力と生産関係の矛盾を答えればよかったのであろうが、不勉強を暴露して恥ずかしかった記憶がある。それ以来、親しく助言を願ってきた。

慶應義塾大学を退かれて後は、新たな環境で研究を続けられるとうかがっている。学会や政府審議会などを通じて、社会的な貢献もまたお進めいただけるであろう。御研究の一層の進展と御健勝を心より祈念し、三田商学研究の一卷を庭田範秋教授記念号として、われわれの感謝と敬愛の証といたしたい。

平成5年4月

商学部長 藤井 弥太郎